

**2005年(平成17年)3月期
第1四半期
財務・業績概況説明資料**

東レ株式会社

目次

. 2005年3月期1Q財務・業績概況(連結)

- ・連結業績の概要 (P4-6)
- ・営業外収支・経常利益 (P7)
- ・特別損益・税前利益 (P8)
- ・資産・設備投資額・減価償却費 (P9)
- ・負債・資本 (P10)
- ・事業セグメント別業績 (P11-16)
- ・営業利益増加要因分析 (P17)

. 2005年3月期中間期業績見通し(連結)

- ・連結業績見通し (P19)
- ・事業セグメント別業績見通し (P20-21)
- ・蝶理(株)、水道機工(株)の
連結子会社化の影響 (P22)

. 2005年3月期中間期単体業績見通し

- ・2005年3月期中間期単体業績見通し
(P24)

**・ 2005年3月期1Q
財務・業績概況(連結)**

連結業績の概要(収益)

億円

	04年3月期 第1Q	05年3月期 第1Q	増減
売上高	2,517	2,721	+204 (+8.1%)
売上原価	1,976	2,105	+129 (+6.5%)
売上総利益	541	616	+75 (+13.8%)
(売上高総利益率)	21.5%	22.6%	+1.1 ポイント
販売費及び 一般管理費	447	455	+8 (+1.7%)
(売上高販管費比率)	17.8%	16.7%	-1.1 ポイント
営業利益	94	161	+67 (+71.2%)
(売上高営業利益率)	3.7%	5.9%	+2.2 ポイント
営業外収支	10	4	+14 (-)
経常利益	84	165	+81 (+96.4%)
特別損益	-	11	
四半期純利益	-	88	

(注) 3月期決算会社は4～6月の業績, 12月期決算会社は1～3月の業績を連結

連結業績の概要(財政状態)

億円

	04年3月末	04年6月末	増減
総 資 産	12,953	12,841	-112 (-0.9%)
株 主 資 本	4,142	4,212	+70 (+1.7%)
有 利 子 負 債	4,945	4,834	-111 (-2.2%)

(注) 3月期決算会社は4～6月の業績, 12月期決算会社は1～3月の業績を連結

連結業績の概要 (事業セグメント別売上高 / 営業利益)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	04 / 3 第1Q	05 / 3 第1Q	増減	04 / 3 第1Q	05 / 3 第1Q	増減	
繊維	1,073	1,108	+35 (+3.3%)	50	56	+5 (+10.9%)	国内は、価格転嫁と高採算品へのシフト、NVC拡大、体質強化の推進により、増収増益。海外は、アジア子会社が体質強化を進め増益となるも、欧州子会社の不振により減収減益。
プラスチック・ケミカル	648	653	+5 (+0.7%)	13	30	+17 (+126.5%)	国内の樹脂・フィルムは、拡販に努め増収増益。ケミカルは、ラクタムの外販を縮小したため減収であるが増益。海外は、アジア・欧米とも拡販と高採算用途へのシフトを進め増収増益。
情報・通信機材	396	518	+122 (+30.8%)	32	67	+35 (+110.5%)	国内は、IT関連樹脂・フィルム、電子材料等いずれも好調に推移し、子会社のIT関連機器が大幅に伸びたことにより、増収増益。海外は、韓国の回路材料関連事業中心に増収増益。
住宅・エンジニアリング	149	160	+11 (+7.6%)	12	10	+2 (-)	建設子会社、エンジニアリング子会社とも拡販に努めるとともに、他の子会社も体質強化を進め増収、収益改善。
医薬・医療	101	99	-2 (-2.2%)	0	4	-4 (-)	医薬事業は薬価改定の影響により減収減益。国内子会社は、医療材の拡販により増収、収益改善。
新事業その他	151	184	+33 (+21.9%)	11	22	+11 (+99.8%)	炭素繊維複合材料は、欧米の航空宇宙用途、産業用途、アジアのスポーツ用途へ拡販を進めるとともに値戻しを進め増収増益。サービス関連子会社も、増収増益。
(内、炭素繊維複合材料)	95	106	+11 (+11.9%)	10	15	+6 (+61.3%)	
計	2,517	2,721	+204 (+8.1%)	94	161	+66 (+70.3%)	
消去又は全社				0	1	+1	
連結	2,517	2,721	+204 (+8.1%)	94	161	+67 (+71.2%)	

(注) 東レ・ファインケミカルのIT関連ケミカルを当第1四半期よりプラスチック・ケミカルセグメントから情報・通信機材セグメントに組み替えている。

そのため04/3月期第1四半期についても同組み替え分を修正している。

営業外収支・経常利益

億円

	05年3月期 第1Q	特記事項
営業外収益	35	
受取利息及び配当金	6	
持分法による投資利益	17	
雑収益	12	
営業外費用	31	
支払利息	15	
雑損失	16	棚卸資産の評価・廃棄損等
営業外収支	4	
経常利益	165	
金融収支	9	
雑収支	4	

注) 収益はプラス、費用はマイナス()で表示

特別損益・税前利益

億円

	05年3月期 第1Q	特記事項
特別利益	0	
有形固定資産売却益	0	
投資有価証券売却益	0	
特別損失	11	
有形固定資産売却廃棄損	6	繊維・プラ以外の設備の廃棄損・廃棄費用等
投資有価証券評価損	0	
構造改善費用	6	繊維・プラの設備の廃棄損・廃棄費用等
その他	0	
ネット特別損益	11	
税前利益	154	

(注) 収益はプラス、費用はマイナス()で表示

資産・設備投資額・減価償却費

億円

	04年3月末	04年6月末	増減	特記事項
総資産	12,953	12,841	-112	
流動資産	5,491	5,377	-114	手元資金の圧縮等
有形固定資産	5,433	5,367	-67	
無形固定資産	96	96	-0	
投資その他	1,933	2,001	+69	上場株式の評価差額増加等

	05年3月期 第1Q	特記事項
設備投資額	114	東レ22、国内28、海外64
減価償却費 -)	153	東レ64、国内22、海外67
振替・除却等	28	
有形固定資産増減	67	

主な設備投資：＜国内＞東レ：炭素繊維設備（愛媛工場）
東レフィルム加工 等
＜海外＞SOFICAR：炭素繊維設備（フランス） 等

負債・資本

億円

	04年3月末	04年6月末	増減	特記事項
負債合計	8,437	8,257	-179	
流動負債	4,729	4,664	-65	コマーシャルペーパーの償還等
固定負債	3,708	3,594	-114	社債の償還等
少数株主持分	374	372	-2	
資本合計	4,142	4,212	+70	有価証券の評価差額金の増加等
有利子負債残高	4,945	4,834	-111	順調に削減

事業セグメント別業績(繊維)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	04/3期 第1Q	05/3期 第1Q	増減	04/3期 第1Q	05/3期 第1Q	増減	
東レ	323	334	+10 (+3.2%)	20	23	+3 (+13.5%)	体質強化の継続と価格転嫁の推進、さらには高採算品へのシフト及び New Value Creator 拡大などによる事業構造改革が着実に進展し、増収増益。
国内	382	414	+32 (+8.4%)	9	14	+5 (+51.6%)	商事子会社(TI)の収益拡大、また各社の体質強化もあって、増収増益。
海外	367	360	-7 (-1.9%)	20	17	-4 (-19.1%)	アジア子会社が体質強化を進め増益なるも、欧州子会社の不振により、全体で減収減益。
修正	0	0		0	2	+2	
計	1,073	1,108	+35 (+3.3%)	50	56	+5 (+10.9%)	

< 主要子会社 >

国内: 東レインターナショナル, 一村産業 他

アジア: ITS(インドネシア), LUCKYTEX(タイ), PENFABRIC(マレーシア), TFNL, TAK(中国) 他

欧米: ALCANTARA(イタリア) 他

事業セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	04/3期 第1Q	05/3期 第1Q	増減	04/3期 第1Q	05/3期 第1Q	増減	
東レ	216	213	-3 (-1.3%)	1	7	+6 (+421.0%)	樹脂は自動車用途、電機用途が、フィルムは、工業材料用途が堅調に推移。ケミカルは、ラクタム縮小により減収。全体で減収増益。
国内	205	200	-6 (-2.7%)	9	11	+2 (+25.6%)	フィルム加工子会社が事業構造改革を推進したことなどにより増益。前年同期に商事子会社(TI)のスポット商内があった影響により減収。
海外	227	240	+13 (+5.7%)	3	10	+7 (+204.9%)	マレーシアのABS樹脂子会社、及び、仏、米、韓のPETフィルム子会社の高採算用途へのシフト等や体質強化進展により、海外全体で増収増益。
修正	0	0		0	2	+2	
計	648	653	+5 (+0.7%)	13	30	+17 (+126.5%)	

< 主要子会社 >

国内： 曾田香料，東レ・ファインケミカル，東レフィルム加工 他

海外： TPA(アメリカ)，TSI(韓国)，TPEU(フランス)，TPM(マレーシア) 他

(注) 東レ・ファインケミカルのIT関連ケミカルを当第1四半期よりプラスチック・ケミカルセグメントから情報・通信機材セグメントに組み替えている。

そのため04/3月期第1四半期についても同組み替え分を修正している。

事業セグメント別業績(情報・通信機材)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	04/3期 第1Q	05/3期 第1Q	増減	04/3期 第1Q	05/3期 第1Q	増減	
東レ	164	199	+35 (+21.6%)	21	38	+17 (+79.4%)	IT関連の樹脂・フィルム、回路材料、液晶カラーフィルターなどがデジタル関連製品需要の急速な拡大を背景に増収増益。
国内	121	201	+81 (+66.6%)	6	22	+16 (+282.0%)	IT関連事業で液晶カラーフィルター製造装置(スリットコーター)の本格販売を開始し、フィルム加工子会社も好調に推移したことから大幅な増収増益。
海外	111	117	+6 (+5.3%)	5	7	+3 (+55.6%)	韓国の回路材料関連子会社を中心に増収増益。
修正	0	0		0	1	-1	
計	396	518	+122 (+30.8%)	32	67	+35 (+110.5%)	

< 主要子会社 >

国内: 東レエンジニアリング, 東レフィルム加工 他

海外: TSI(韓国), TPA(アメリカ), TPEU(フランス) 他

(注) 東レ・ファインケミカルのIT関連ケミカルを当第1四半期よりプラスチック・ケミカルセグメントから情報・通信機材セグメントに組み替えている。

そのため04/3月期第1四半期についても同組み替え分を修正している。

事業セグメント別業績(住宅・エンジニアリング)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	04/3期 第1Q	05/3期 第1Q	増減	04/3期 第1Q	05/3期 第1Q	増減	
東レ	16	15	-0 (-3.0%)	4	3	+1 (-)	
国内	131	143	+12 (+8.9%)	8	6	+3 (-)	建設子会社がマンション販売を伸ばすと共に、他の各社も体質強化を推進したことにより、増収、収益改善。
海外	2	2	+0 (+4.6%)	0	0	-0 (-10.0%)	
修正	0	0		0	1	-1	
計	149	160	+11 (+7.6%)	12	10	+2 (-)	

< 主要子会社 >

国内：東レ建設，東レエンジニアリング 他

事業セグメント別業績 (医薬・医療)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	04/3期 第1Q	05/3期 第1Q	増減	04/3期 第1Q	05/3期 第1Q	増減	
東レ	28	23	-5 (-19.2%)	1	4	-5 (-)	医薬事業は薬価改定の影響により減収減益。
国内	64	69	+5 (+7.4%)	1	0	+1 (-)	医療材の拡販により増収、収益改善。
海外	9	7	-2 (-18.4%)	0	0	-0 (-93.1%)	
修正	0	0		0	0	-0	
計	101	99	-2 (-2.2%)	0	4	-4 (-)	

< 主要子会社 >

国内： 東レ・メディカ

事業セグメント別業績(新事業その他)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	04/3期 第1Q	05/3期 第1Q	増減	04/3期 第1Q	05/3期 第1Q	増減	
東レ	29	28	-1 (-3.6%)	6	8	+2 (+39.5%)	主力の複合材料事業を含め、売上げ横這いながら増益。
国内	66	94	+28 (+43.1%)	4	6	+3 (+74.8%)	商事子会社が、売上を伸ばすとともに、サービス関連子会社も順調に推移し、増収増益。
海外	56	61	+6 (+10.2%)	1	6	+5 (+356.8%)	主力の複合材料事業では、炭素繊維の世界的な市況回復傾向を受けて、欧米の航空宇宙用途、産業用途向けに拡販するとともに、値戻しも実現し、増収増益。
修正	0	0		0	1	+1	
計	151	184	+33 (+21.9%)	11	22	+11 (+99.8%)	
(内複材)	95	106	+11 (+11.9%)	10	15	+6 (+61.3%)	

< 主要子会社 >

国内：東レリサーチセンター、東レインタープライズ 他

海外：SOFICAR (フランス) 他

営業利益増加要因分析

億円

< 04 / 3期 1Q 05 / 3期 1Q >

	前年同期比		
	東レ	子会社	合計
先端材料・NVC [*] の拡大、生産・営業効率改善(原単位・品種構成改善など)、販売量・生産量増など	+22	+32	+54
TCプロジェクト効果(製造固定費・外注加工費・購買物流費・本社費・営業費の削減、要員効率化など)	+4	+11	+15
販売価格アップ・原料価格アップの影響など(ネット)	-2	+0	-2
合 計	+24	+43	+67

* NVC: New Value Creator

**・ 2005年3月期中間期
業績見通し(連結)**

2005年3月期中間期連結業績見通し

億円

	前年同期 実績	今回見通し	増減	期初見通し	増減
売上高	5,343	5,800	+457 (+8.5%)	5,500	+300 (+5.5%)
営業利益	247	320	+73 (+29.4%)	290	+30 (+10.3%)
経常利益	230	320	+90 (+39.3%)	290	+30 (+10.3%)
中間純利益	109	170	+61 (+55.3%)	150	+20 (+13.3%)

* 通期の業績予想につきましては、中間決算発表時に見直しを行う予定です。

事業セグメント別業績見通し(売上高/営業利益)

(1) 前年同期との差異

2005年3月期中間期

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	前年同期実績	今回見通し	増減	前年同期実績	今回見通し	増減	
繊維	2,134	2,220	+86 (+4.0%)	94	100	+6 (+6.1%)	国内は、付加価値品の拡販、原料高に対する価格転嫁を進め、前年同期を上回る見通し。海外は、アジア子会社で拡販を進め、前年同期を上回る見通しだが、欧州子会社は前年同期を下回る見通し。
プラスチック・ケミカル	1,274	1,330	+56 (+4.4%)	43	50	+7 (+15.8%)	国内は、樹脂の自動車・電機用途、フィルム of 工材、包材とも好調に推移し前年同期を上回る見通し。海外は、アジアの樹脂・フィルム子会社が値上げと拡販するが、原料高の影響もあり利益は前年同期並みを見込む。
情報・通信機材	834	1,100	+266 (+31.9%)	69	125	+56 (+80.8%)	国内は、樹脂・フィルム、電子材料、液晶カラーフィルター等が好調に推移するとともに、子会社の機器の拡販により前年同期を大幅に上回る見通し。海外では、韓国の回路材料関連子会社を中心に、前年同期を上回る見通し。
住宅・エンジニアリング	543	560	+17 (+3.2%)	3	5	+2 (+51.5%)	建設子会社は、当中間期はマンション完工が下期に集中するため前年同期を下回る見通しであるが、エンジニアリング子会社は、民間プラント事業が好調に推移し、前年同期を上回る見込み。
医薬・医療	220	200	-20 (-9.1%)	7	0	-7 (-100.0%)	医薬事業は、薬価改定の影響により前年同期を下回る見通し。
新事業その他	339	390	+51 (+15.0%)	27	40	+13 (+48.3%)	炭素繊維複合材料は、欧米の航空宇宙用途、産業用途、アジアのスポーツ用途が好調に推移するとともに値戻しを進め、前年同期を上回る見通し。国内サービス関連子会社は堅調に推移し、前年同期を上回る見通し。
(内、炭素繊維複合材料)	181	220	+39 (+21.3%)	18	30	+12 (+64.8%)	
計	5,343	5,800	+457 (+8.5%)	244	320	+76 (+31.3%)	
消去又は全社				4	0	-4	
連結	5,343	5,800	+457 (+8.5%)	247	320	+73 (+29.4%)	

(注) 東レ・ファインケミカルのIT関連ケミカルを当第1四半期よりプラスチック・ケミカルセグメントから情報・通信機材セグメントに組み替えている。

そのため04/3月期中間期についても同組み替え分を修正している。

事業セグメント別業績見通し(売上高/営業利益)

(2) 期初見通しとの差異

2005年3月期中間期

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	期初見通し	今回見通し	増減	期初見通し	今回見通し	増減	
繊維	2,140	2,220	+80 (+3.7%)	95	100	+5 (+5.3%)	国内は、原料価格上昇の影響はあるが、価格転嫁、高採算品へのシフト、NVCの推進等により期初見通しを上回る見通し。海外は、アジアが原料高の影響、欧米は欧州子会社の不振により期初見通しを下回る見通し。
プラスチック・ケミカル	1,300	1,330	+30 (+2.3%)	45	50	+5 (+11.1%)	国内は、樹脂が自動車・電機等主力用途が拡販を進め、フィルムも工業材料、包装材料向けに順調に推移し、期初見通しを上回る見通し。海外は、アジア・欧米ともほぼ期初見通し並の見通し。
情報・通信機材	970	1,100	+130 (+13.4%)	110	125	+15 (+13.6%)	国内は、各製品とも需要は堅調で、期初見通しを上回る見通し。なお、IT関連機器は、第1四半期に販売が集中したため上期トータルでは期初見通し並の見通し。海外は、期初見通し並の見通し。
住宅・エンジニアリング	530	560	+30 (+5.7%)	0	5	+5 (-)	建設子会社、エンジニアリング子会社とも順調に推移し、期初見通しを上回る見通し。
医薬・医療	220	200	-20 (-9.1%)	5	0	-5 (-100.0%)	医薬事業は、競合激化とライセンス収入の遅れにより、期初見通しを下回る見通し。国内子会社は、期初見通し並の見通し。
新事業その他	340	390	+50 (+14.7%)	35	40	+5 (+14.3%)	炭素繊維複合材料は、欧米の航空宇宙用途、産業用途、アジアのスポーツ用途が好調に推移し、期初見通しを上回る見通し。国内サービス子会社も堅調に推移し、期初見通しを上回る見通し。
(内、炭素繊維複合材料)	185	220	+35 (+18.9%)	25	30	+5 (+20.0%)	
計	5,500	5,800	+300 (+5.5%)	290	320	+30 (+10.3%)	
消去又は全社				0	0	0	
連結	5,500	5,800	+300 (+5.5%)	290	320	+30 (+10.3%)	

蝶理(株)、水道機工(株)の連結子会社化の影響

2005年3月期当社連結業績に与える影響の見通し
(下期のみ)

億円

	蝶理	水道機工	合計
売上高	+1,140	+135	+1,275
営業利益	+23	+16	+39
経常利益	+15	+15	+30
当期純利益	+5	+3	+8

<ご参考> 両社の2005年3月期連結業績見通し

	蝶理		水道機工	
	中間期	通期	中間期	通期
売上高	1,250	2,500	50	185
経常利益	20	41	12	4
当期(中間)純利益	16	36	7	1

蝶理:2004年8月6日
発表に基づく。
水道機工:2004年7月
28日発表に基づく。

**. 2005年3月期中間期
単体業績見通し**

2005年3月期中間期単体業績見通し

億円

	前年同期 実績	今回見通し	増減	期初見通し	増減
売上高	2,229	2,400	+171 (+7.7%)	2,300	+100 (+4.3%)
営業利益	93	140	+47 (+51.0%)	110	+30 (+27.3%)
経常利益	127	170	+43 (+33.7%)	140	+30 (+21.4%)
中間純利益	81	100	+19 (+23.6%)	80	+20 (+25.0%)

* 通期の業績予想につきましては、中間決算発表時に見直しを行う予定です。

本資料中の2005年3月期中間期の業績予想、見通し、及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。